

にしっこ 西っ子のみなさんへ 101 7月7日

きょう 今日、7月7日は「七夕」ですね。

こんやは 晴れて、織姫様と彦星様は天の川を渡って会うことができるでしょうか。

七夕は、中国の伝説に由来しますが、この伝説が日本に伝わったのは奈良時代のことです。

織姫星（織女星）はこと座の1等星ベガ。彦星（牽牛星）はわし座の1等星アルタイルです。この二つの星に、

はくちょう座の1等星デネブを加え、三つの星を結びと大きな三角形ができ、「夏の大きな三角形」と呼ばれています。

七夕の起源は、日本古来の豊作を祖先の霊に祈る祭に、中国から伝来した女性が針仕事の上達を願う乞巧奠や仏教の盂蘭盆会などを合わせたものだと考えられています。

現在、「七夕」と書いて「たなばた」と言いますが、古くは「棚機」と書きました。豊作を祈るために、神様に着物を織ってお供えしました。その着物を織る機械のことを「棚機（たなばた）」と言いました。

「七夕」というと笹に、いろいろな飾りを付けたり、短冊に願いを書いてつるしたりしますが、笹は精霊（祖先の霊）が宿る依代（神霊が依り憑く対象物）で、この笹に短冊などを飾る風習は、江戸時代から始まったもので日本独自のものです。

初めは、五色の糸を飾っていましたが、それが江戸時代になって五色の短冊が使われるようになったのです。五色は決まっていて、「青・赤・黄・白・黒（紫）」の五色です。これは、古代中国の陰陽五行説に基づいた色で、この五色を短冊や吹き流しに使用することにより、魔除けの意味を持たせたとされています。江戸時代の短冊には、主に文芸の上達に関する願い事を書きました。また、願い事の他に「天の川」など七夕にちなんだ言葉や絵を書くこともありました。したがって、「ゲーム機がほしい」というような短絡的な願いは書かないようにしましょう。

七夕は「星祭り」ともいい、7月7日または月遅れの8月7日を中心に日本各地で開催されます。仙台の七夕祭りが有名ですが、この祭りも8月6日～8日に開かれます。

七夕の日に雨が多いのは、現在、現在私たちが使っている暦が新暦（太陽暦・グレゴリオ暦）のためです。七夕は昔から行われている行事なので、昔の暦＝旧暦（太陰太陽暦）での7月7日に行われるべき行事なのです。新暦の7月7日は、まだ梅雨明けしていないので、必然的に雨や曇りとなることが多いのです。

ちなみに、今年の旧暦の7月7日は「8月14日」。来年は「8月4日」になります。旧暦の7月7日は、たぶん、きれいな星空が見えるのではないのでしょうか。

